



ケアマネ・ポート

KYOTO CARE MANE PORT

Contents

- 2 ご挨拶／
平成27年度公益社団法人京都府介護支援専門員会定時総会ご報告
- 3 公益社団法人京都府介護支援専門員会組織図
- 4 第15回近畿介護支援専門員研究大会京都大会について
- 6 中丹ブロック活動報告／相楽ブロック活動報告
- 7 公益社団法人京都府介護支援専門員会平成27年度ブロック委員総
会ご報告／日本ケアマネジメント学会第14回研究大会ご報告
- 8 事務局からのお知らせ／編集後記

ご挨拶

6月27日に開催されました平成27年度定時総会において、二期目の会長に再任をされました井上基です。浅学非才ではありますが、京都府介護支援専門員会と会員の皆様のために精一杯努力していく所存です。どうぞ、よろしくお願いします。

さて、皆様もご存知のとおり、国レベルでは、平成30年の次期報酬改定に向けての議論が既に始まっています。次期改定は、診療報酬との同時改定の予定であり、地域包括ケアシステムの構築に向けての様々な制度改革が、多方面で加速度的に進んでいくことが予想されます。果たして、ケアマネジャーは、この制度改革の波に翻弄され消耗し、一方的に消費されていくのか、それとも、引き続き、介護保険制度の要として、更には、地域包括ケアシステムの要として、制度改革を牽引していくことができるのか?が問われているのではないのでしょうか。

今、この時期だからこそ、現場のケアマネジャーから大きな声を上げていかなければなりません。ただ、声を出すだけではなく、実現可能な提案を実現可能な方法で、市町村、都道府県、国、他団体に

訴えていくためには、組織力が不可欠です。また、一部のケアマネジャー少数派の意見ではなく、ケアマネジャーの総意として、意見集約し提言をしていくため、日本介護支援専門員協会との連携もより一層強化していく必要があります。1人でも多くのケアマネジャーに会員になっていただくことを目標に、可能な限り京都府内全域に出かけて行き、会員の皆様、そして、まだ未加入のケアマネジャーと直接話をしたいと思っています。

今回の役員改選において、これまで14名であった理事数を25名まで増やすことができました。皆様のブロックや地域など、身近なところに本会の理事がいます。ぜひ、声をかけてください。素朴な疑問、些細な提案など、どんなことでも構いません。皆様と常に議論しながら会の運営をしていきたいと思っています。

これから2年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(会長 井上 基)

平成27年度 公益社団法人京都府介護支援専門員会 定時総会ご報告

平成27年6月27日(土)午後2時からハートピア京都にて公益社団法人京都府介護支援専門員会平成27年度定時総会が開催されました。冒頭、井上会長から「今年度の介護保険制度改定の件でたくさんのご意見や、ご質問をいただいています。国も次の改定(診療報酬との同時改定)に向けての準備をしています。本会におきましても今後とも会員の皆様に頼りにされる会であり続けるように努力するとともに皆様のご協力を賜りたい」と挨拶がありました。

報告事項

- 報告第1号 公益社団法人京都府介護支援専門員会平成26年度事業報告について
- 報告第2号 公益社団法人京都府介護支援専門員会平成27年度事業計画について
- 報告第3号 公益社団法人京都府介護支援専門員会平成27年度収支予算について
- 報告第4号 公益社団法人京都府介護支援専門員会諸規定について
- 報告第5号 顧問の選任について

決議事項

- 第1号議案 公益社団法人京都府介護支援専門員会平成26年度収支決算報告(案)について
- 第2号議案 理事選任について

以上すべての議案が賛成多数で可決されました。

次に選任された理事により「臨時理事会」が開催され、会長は井上基、副会長は北川靖、小林啓治、松本善則が再任いたしました。井上会長は「理事役員を14名から25名に増加できたので、これからさらなる強い会にしていくと共に、地域の中で役員の顔が見えやすくなり、皆様の身近な会の運営を目指したい」と決意表明があり、以上の内容で閉会となりました。ご多忙の中ご参加いただきました代議員の皆様ありがとうございました。

(編集委員長 西村 篤)

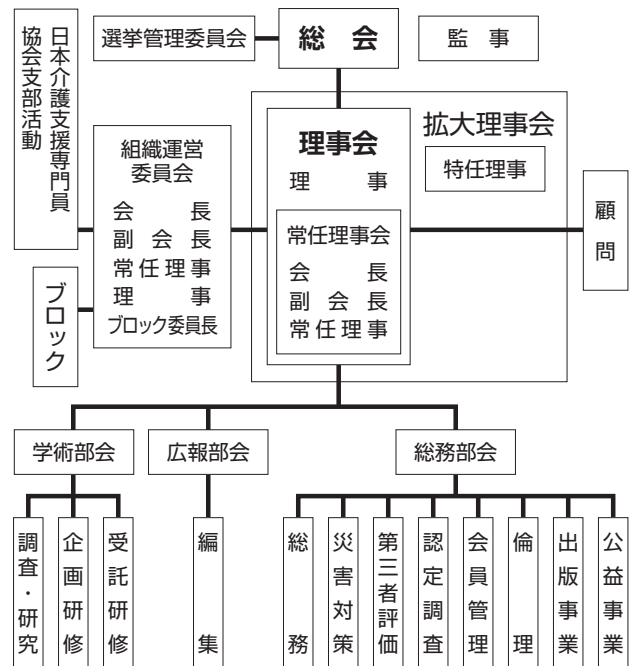


公益社団法人京都府介護支援専門員会 組織図

平成27年度 公益社団法人京都府介護支援専門員会 役員一覧 (平成27年6月27日～)

会 長	井上 基	理 事	上田 充子
副 会 長	北川 靖	理 事	門脇 郁代
副 会 長	小林 啓治	理 事	瀧川 広治
副 会 長	松本 善則	理 事	中吉 克則
常任理事	山下 宣和	理 事	福田 信美
常任理事	川添 チエミ	ブロック理事	小原 彰紀
常任理事	甲田 由美子	ブロック理事	竹中 織恵
常任理事	柴田 崇晴	ブロック理事	湯浅 由美
常任理事	高木 はるみ	ブロック理事	塚田 聡
常任理事	西谷 友香子	ブロック理事	西田 香葉子
常任理事	樋口 孝子	ブロック理事	中藤 正一
常任理事	堀田 裕	ブロック理事	村上 雅代
		ブロック理事	村上 晶之
		監 事	木村 晴恵
		監 事	上原 春男
		顧問	福富 昌城
		特任理事13名	

公益社団法人京都府介護支援専門員会 組織図



総務部会 (担当副会長：小林/部会長：山下)

公益事業	○府民公開講座の企画・運営 ○関係機関との連携 ○ブロック懇談会の企画・運営	【担当理事】 主担当：甲田由美子 副担当：湯浅 由美 竹中 織恵
出版事業	○書籍の出版企画 ○在庫管理 ○出版会社との連携	【担当理事】 主担当：西谷友香子 副担当：小原 彰紀 湯浅 由美
倫理	○会員資格の裁定 ○介護支援専門員の倫理に関する案件処理 ○個人情報に関する案件の処理	【担当理事】 主担当：小原 彰紀 副担当：福田 信美 西田香葉子
会員管理	○会員数の増減・会費納入状況の管理 ○会員数増加への企画・運営 ○会員からの相談受付	【担当理事】 主担当：樋口 孝子 副担当：上田 充子 塚田 聡
認定調査	○事務受託法人の運営管理 ○認定調査員研修の企画・運営 ○他の事務受託法人との連携	【担当理事】 主担当：西谷友香子 副担当：中藤 正一 村上 雅代
第三者評価	○第三者評価事業の運営管理 ○第三者評価者の育成 ○第三者評価機構への協力	【担当理事】 主担当：川添チエミ 副担当：高木はるみ 中藤 正一
災害対策	○J R A Tの組織化 ○研修の開催	【担当理事】 主担当：柴田 崇晴 副担当：門脇 郁代 中吉 克則
総務	○予算・決算の審議 ○規程等の見直し	【担当理事】 主担当：山下 宣和 副担当：川添チエミ 瀧川 広治

広報部会 (担当副会長：松本/部会長：堀田)

○ケアマネ・ポートの発行 ○ホームページの運営管理 ○メールマガジンの発信	【担当理事】 主担当：柴田 崇晴 副担当：塚田 聡 村上 晶之
---	---

学術部会 (担当副会長：北川/部会長：松本)

受託研修	○更新研修（未経験者研修・再研修） ○実務従事者基礎研修 ○専門研修課程Ⅰ ○専門研修課程Ⅱ ○主任介護支援専門員研修	【担当理事】 主担当：堀田 裕 副担当：瀧川 広治 中吉 克則 西田香葉子 村上 雅代
独自研修	○教養関連 ○制度関連 ○ケアマネジメント基礎 ○保健医療分野 ○福祉分野 ○認知症関連 ○施設ケアマネジメント ○研究大会	【担当理事】 主担当：甲田由美子 副担当：西谷友香子 福田 信美 竹中 織恵
調査・研究	○ アンケート調査・集計・分析 ○ 会員インタビュー	【担当理事】 主担当：高木はるみ 副担当：樋口 孝子 上田 充子 門脇 郁代

第15回 近畿介護支援専門員研究大会 京都大会について

1. 大会概要

(1) 趣旨

京都は、古の時代から、連綿と受け継がれた様々な伝統や格式があり、今尚、時代の要請を受け止め進化しつづけています。今回は茶道や武道で言う守破離（の精神）がテーマで、プロフェッショナルたる者それなりの覚悟や精神を持つべきという願いのテーマ選択です。

介護保険制度（≡ケアマネジャー）が始まり15年経過しましたがまだまだプロフェッショナルの域には達していません。これは公的制度という枠組みの中で制度自体が変わる（社会の要請が変わる）という要因があることが大きいですが、それによって揺れ動くケアマネジャー自身の軸のブレが問題だと感じています。

「対人援助職としての軸はしっかり持ちながら、社会の要請にはしっかり応える柔軟性を供えて欲しい」という願いを込め、専門職としてのこれからを語り、学ぶ機会としたいと考えております。

(2) テーマ

暮らしをつなぐケアマネジメント
～早春の京で学ぶ“守・破・離”～

(3) 開催日

平成28年2月19日（金）・20日（土）

(4) 参加予定数

1,000名

(5) 参加費

事前登録	会員	8,000円	非会員	16,000円
当日登録	会員	10,000円	非会員	20,000円

(6) 会場

京都テルサ
〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70番地
（新町通九条下ル）
電話 075-692-3400 FAX 075-692-3402

(7) 懇親会会場及び会費

日時：平成28年2月19日（金）18：30～20：30
会場：ホテルグランヴィア京都 3F「源氏の間」
〒600-8216 京都市下京区烏丸通塩小路
下ル JR京都駅中央口
電話 075-344-8888（大代表）
FAX 075-344-4400
懇親会費：10,000円（先着250名）

(8) 日程

第1日目（平成28年2月19日）……………
12：30～13：30 受付
13：30～14：00 開会式
14：00～15：00 基調講演
「未定」厚生労働省 老健局
15：00～15：15 休憩
15：15～15：35 特別講演
「伝統を巻き込んだ“京”の食支援～守・破・離の仕掛け人」
京滋摂食・嚥下を考える会
世話人代表 荒金 英樹 先生
15：35～17：30 対談
「伝統を支える～五感を護る食のバリアフリー」
司会：京滋摂食・嚥下を考える会
世話人代表 荒金 英樹 先生
スピーカー：
日本料理アカデミー
京料理せんしょう 辰馬 雅子 氏
京都市産業技術研究所知恵産業融合センター
デザインチーム 竹浪 祐介 氏
京都府生菓子協同組合
（株）京菓子司 葵餅 上田 孝博 氏
京都府介護支援専門員会
副会長 松本 善則 氏

一日目終了

18：30～20：30 懇親会
会場 ホテルグランヴィア京都
3F「源氏の間」

第2日目（平成28年2月20日）……………

9:00 ～ 9:30 受付

9:30 ～ 12:00 分科会

第1分科会：認知症分野「認知症高齢者の生活行為向上のために」

第2分科会：地域分野「地域包括ケアシステムの構築を目指して」

第3分科会：教育分野「ケアマネジャーの教育研修・人材育成（スーパーバイズ）を考える」

第4分科会：福祉分野「利用者の自立支援と権利擁護を考える～幸せで豊かな生活の実現のためにケアマネジャーができること～」

第5分科会：保健医療分野「望む暮らしの実現に向けた医療・保健領域との連携」

第6分科会：倫理的分野「利用者の尊厳とケアマネジメントプロセスにおける倫理的配慮について」

12:15 ～ 12:45 全体会

12:45 ～ 13:00 閉会式

14:00 ～ 15:30 府民公開講座 講演

「ご飯が食べられなくなったらどうしますか？
～永源寺の地域まるごとケアに学ぶ～」

東近江市永源寺診療所 花戸 貴司 所長

今年度の当会の府民公開講座については、第15回近畿介護支援専門員研究大会京都大会「暮らしをつなぐケアマネジメント～早春の京で学ぶ“守・破・離”～」との併催を予定しており、2日目、2月20日（土）の京都大会終了後、14:00～15:30の予定で開催いたします。

例年開催しているこの講座は、広く府民の方々に無料でご参加頂き、当会の活動へのご理解と周知を目的としております。今年度は滋賀県の近江市永源寺地区で早くから地域ケアを実践されている花戸貴司先生をお招きし、医師の立場からご講演いただく予定です。会員の皆様におかれましては、広く府民の方々にお声かけ頂きご参加いただきますようご協力をお願いいたします。

お申し込みについては、12月にご案内予定です。

〈花戸貴司先生略歴〉

昭和45年 滋賀県長浜市生まれ

平成元年 滋賀県立虎姫高校卒業

平成7年 自治医科大学医学部卒業

平成7年 滋賀医大研修医

平成9年 湖北総合病院小児科

平成12年 永源寺町国保診療所（現 東近江市永源寺診療所） 所長

平成20年 同診療所を指定管理にて運営
現在に至る

永源寺診療所では内科・小児科・整形外科などのプライマリ・ケア外来の他、訪問診療・訪問看護も積極的に行い、医療のみではなく、介護、保健分野と連携した地域包括ケアに取り組んでおられます。

日本小児科学会認定専門医

日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医

滋賀医大非常勤講師

龍谷大学非常勤講師

三方よし研究会 実行委員長

医学博士



花戸 貴司 先生

【連絡先】

公益社団法人 京都府介護支援専門員会

〒604-0874

京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375

京都府立総合社会福祉会館（ハートピア京都）7F

TEL 075-254-3970 FAX 075-254-3971

e-mail info@kyotocm.jp

URL http://kyotocm.jp/

FB https://www.facebook.com/2016kinki

大会フェイスブック QRコード



（副会長 小林 啓治）

中丹ブロック 活動報告

中丹ブロックは、舞鶴市、綾部市、福知山市の三市を圏域に活動を行っています。その特徴は、市単位にも介護支援専門員の会が、組織されていて市、中丹、京都府とその活動が三層になっていることが挙げられると思います。残念ながら昨年からは舞鶴市は、市単位の活動を休止されていますが、綾部市、福知山市においては、会員の資質向上のための研修や勉強会、意見交換会を定期的に開催し介護支援専門員の交流を図っています。また、介護支援専門員の会として市、中丹地域で開催される会議にも「ケアマネジャーの立場で意見を出して欲しい」との依頼で出席を求められることが増えてきています。

27年度の事業としては、昨年開催した「災害弱者と大

災害をめぐるリスクマネジメント研修」に続いて、「災害発生時の具体的な対応」についての研修を11月に開催することを計画しています。

介護保険制度が、改正される度に、介護支援専門員の業務が増え、以前のように一堂に会して、「気楽に意見交換をしたり」時には「愚痴をこぼしたり」、「元気をもらったり」する機会が減っている中で、介護支援専門員として頑張っているよとお互いに確認しあえる場となるような研修となればと考えていますので是非ご参加下さい。

(中丹ブロック委員長 北山 重良)

相楽ブロック 活動報告

相楽ブロックは京都府南端に位置し、1市3町1村で他県に隣接する県境地にあり、ブロック委員は8名で活動中です。

ブロック委員会はほぼ毎月第2木曜日に2時間の予定で開催しており、通算128回目を迎えましたが、頻度・開催日時は今後の課題です。

活動内容は『介護と医療の連携』を主軸とし、相楽医師会の在宅療養に関する事業を支援・協働しているのが大きな特徴です。これまで、多職種連携ネットワーク『きづがわねっと』の構築による①多職種連携シート作成②『認知症を学ぶ会』開催③『看取りを学ぶ会』開催④初期認知症対応カフェ開催などにおいて、事務局活動と実務協力を行い、本年は多職種による『看取りフローチャート』の作成事業と、病院医師と多職種による認知症患者の入退院の課題検討会を実施しています。この『きづがわねっと』の発展的運用による、当地域の多職種連携

による包括ケアシステム構築と在宅療養の拠点づくりに医師会と協働していければと考えています。

また、毎年ケアマネジャーの質の向上のために講師の招聘・講演と演習を施行しており、本年度は平成30年度の医療介護保険同時改定を見据えた『医療・介護の動向とケアマネジャーの方向性』についての講演・勉強会を企画しています。

当ブロックの会員数は減少傾向です。最大人口の旧木津町は奈良県事業者も参入しケアマネジャーは多いが入会者は少なく、連携する組織が無いため情報の周知・共有に不都合が多く、行政の賛同を得て、京都府介護支援専門員会とは別に当ブロック委員の支援による「木津川市ケアマネ会」が立ち上がる予定で、その節には本会のご支援賜りますよう宜しくお願い致します。

(相楽ブロック委員長 池田 文武)

ご報告 公益社団法人京都府介護支援専門員会 平成27年度 ブロック委員総会

平成27年8月22日(土)午後2時30分より、京都テルサにて公益社団法人京都府介護支援専門員会平成27年度ブロック委員総会が開催されました。

冒頭、井上会長の挨拶で「強い会を作るには会員数の増加やブロック活動の活性化は不可欠であり、今後も『ケアマネジャーの』『ケアマネジャーによる』『ケアマネジャーのための』



職能団体にしていくためにご協力賜りたい」と挨拶がありました。



その後、京都府介護支援専門員会とブロック活動の役割や実情について再確認され、参加者全員でワールドカフェ方式で意見交換が行われました。ブロック活動が活性化するにはどうすればよいか等、席を移動しながらたくさんの方々と課題の共有や意見交換をすることができました。

ご多忙の中ご参加いただきましたブロック委員の皆様ありがとうございました。

(編集委員長 西村 篤)

ご報告 日本ケアマネジメント学会 第14回 研究大会

日本ケアマネジメント学会第14回研究大会(横浜大会)が、平成27年6月12日・13日・14日、横浜みなとみらいパシフィコ横浜会議センターにて開催されました。「地域包括ケアにおけるケアマネジメントの価値と役割の再構築」がテーマです。地域包括ケアにおいてケアマネジメントが果たす役割を議論することが主題におかれていました。

今回の大会は第29回日本老年学会総会と合同学会であり、日本老年医学会・日本老年社会学会・日本基礎老化学会・日本老年歯科医学会・日本老年精神医学会・日本老年看護学会にも参加が可能。合同シンポジウムの企画



もあり貴重な学びや交流の機会を得ることが出来ました。

13日には、京都市在住の青野浩美さんによるイブニングセミナー「前例がなければ

作ればいい」というテーマのトーク＆コンサートが開演されました。青野さんは大学で声楽を専攻されていましたが原因不明の病

気で気管切開の後、発声が困難になると言われるも、自分に合うスピーチカニューレを見つけることが出来、車いすでソプラノを歌われています。素晴らしい歌声に会場全体が感銘を受けました。

参加者は1434名、107演題の発表。平成28年度から主任介護支援専門員の更新要件に学会の大会発表経験が位置付けられた事もあり、参加したケアマネジャーの意識の高さが伺える研究大会でした。来年は第15回大会が北九州で開催されます。



(常任理事 高木 はるみ)

事務局からのお知らせ

■ 口座振替手続きについてのお願い

平成27年度以降の会費につきましては、口座振替をお願いしております。口座振替手続きがお済みでない会員様に「預金口座振替依頼書」を同封しております。10月末日までにご記入のうえ必ずご返送ください。

■ 会員証について

2015年6月1日～8月31日までに平成27年度会費を納入いただきました会員様に会員証を同封しております。

■ 住所・氏名・勤務先等を変更された方へ

住所・氏名・勤務先等を変更された方は、「住所・氏名・勤務先等の異動届」をご提出いただきますようお願いいたします。当会ホームページより、入力フォームまたは様式をダウンロードして記入後、FAXかメール添付にてお送りください。

■ メールマガジンについて

当会ではホームページからの情報発信に加えて、日々の業務に役立つ情報をお届けするため、毎月最終金曜日にメールマガジンを配信しております。「mail@kyotocm.jp」宛に、下記の手順でメールをお送りください。皆様のご登録をお待ちしております。

件名に メールマガジン希望

本文に ①会員番号②氏名③生年月日 を記入して送信

※携帯電話のメールアドレスをご登録される場合、「mail@kyotocm.jp」からの受信許可設定をお願いいたします。

編集後記

介護保険改正に伴い平成27年8月より、第1号被保険者で一定以上の所得がある方はサービス利用時の負担が2割負担となりました。該当するご利用者からさまざまな声が聞こえてきたのは私だけでしょうか？この2割負担導入によって、利用料が高額になってしまうと判断されたご利用者やご家族からの希望で必要なサービスが減り、状態が悪化してしまうケースが出ないよう、私たちケアマネジャーのケアマネジメントの質が更に問われる状況ではないかと思えます。また、「社会保障と税」に関して更に関心を持ち、先見の明をもって改正内容の意図やメッセージを汲み取る必要もあるのではと考えています。

そういったことを踏まえ、来年2月に行われる「第15回近畿介護支援専門員研究大会京都大会」に参加してみるのはいかがでしょうか？きっと新たな気付きや出会いがあると思います。

(編集委員 中嶋 優)

京都ケアマネ・ポート49号

2015年10月1日発行

発行人：井上 基

編集委員長：西村 篤

広報部会編集委員：柴田 崇晴 塚田 聡 村上 晶之 佐藤 弓子 中嶋 優 松本 善則 堀田 裕

発行元 公益社団法人 京都府介護支援専門員会

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町375 京都府立総合社会福祉会館7階

TEL. 075-254-3970 FAX. 075-254-3971

E-mail: info@kyotocm.jp URL: http://kyotocm.jp/